

らそむ発達支援ルームらいく 事業所評価【保護者・児童発達支援】 集計結果

令和6年 3月

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	0	0	0	・スペースは特に問題なく運動できている。	・限られたスペースではありますが、トランポリンやマットを移動してスペースを確保する、走り回るとは壁等に衝突することがないようスタッフを配置するなど、十分な活動ができるよう工夫しています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	17	0	0	0		・STが休職中につき、ニーズのある利用者の方々には十分な療育を提供することができない状況となっており、申し訳ございません。OT、保育士を中心に、お子さんの状況に応じてスタッフの配置数を増やすなど工夫しながら支援を提供していきたいと考えます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	16	0	0	1		・お子さんへの情報伝達には必要に応じて視覚支援を取り入れ、視覚的に分かりやすく伝えることができるよう心がけています。また、当事業所は段差のない構造となっており、バリアフリー対応しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	16	0	0	1		・事業所内は毎日清掃や消毒を行い、安心してご利用いただけるよう心がけています。また、怪我の危険が予測される箇所に緩衝材を設置することや季節ごとの装飾など、お子さんに合わせた環境づくりをしています。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 ii が作成されているか	17	0	0	0		・お子さんの状況や課題、保護者の方のニーズなどをST(休職中)、OT、保育士などのスタッフが多面的に分析し、一人一人の個別支援計画に反映させています。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15	0	0	2		・お子さんの状況や特性、課題などに応じて、ガイドラインに則った支援目標や具体的な支援内容を個別に設定しています。個別支援計画は「目標」、「身近な目標」、「具体的な支援」についての項目で作成し、ご説明させて頂いています。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	17	0	0	0	・毎回の活動後に活動内容の目的など説明がある。	・お子さんの個別支援計画に基づいてセッションの立案を行い、打ち合わせを通してセッションの担い手をスタッフ間で共有しながら支援を行っています。
	8	活動プログラム iii が固定化しないよう工夫されているか	16	0	0	1	・楽しみながら活動出来ている。	・活動プログラムは、毎回立案する担当者を変え、全スタッフが立案に関わるようにしています。また、立案の際には前回までの記録を参照し、活動内容に偏りがないように配慮しています。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	0	0	10	・交流の経験はない。	・個別療育という支援の特性上、また、限られた時間の中での支援の提供となるため、外部のお子さんとの交流は行っていません。現在要望の声はありませんが、今後必要に応じて実施を検討していきます。
保護者への説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	0	0	2		・運営規定は待合室の掲示板に掲示を行い、いつでも確認していただけるようにしています。利用者負担に関しては、利用開始の契約時、また実際に利用者負担が発生する際にご説明させて頂いています。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	17	0	0	0		・個別支援計画書に関しては、年2回の作成時に「目標」「身近な目標」「具体的な支援」についてご説明させていただいています。支援内容に関しては、毎回のセッション終了時にどのような狙いで行ったか、お子さんの様子等について説明させていただいています。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	10	0	0	7		・プログラム等の実施はありませんが、お子さんの状況や困りごとなどを相談しやすい関係づくりを心がけており、必要に応じて相談支援などを行っています。また、活動の様子を見学していただく中で声掛け等の対応を参考にさせていただけるよう心がけています。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について 共通理解ができているか	16	1	0	0		・園やご家庭での生活の状況や課題、困りごとなどだけではなく、お子さんに関する些細なことでコミュニケーションを取って情報共有、共通理解ができるよう心がけています。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	1	0	1		・現在、面談としての時間は設定しておりませんが、セッションの前後など、必要に応じてセッション中にお話をさせていただいています。お子さんの状況や困りごとなどありましたら、利用時はもちろん、電話、LINEでも構いませんので、いつでもご相談いただけたらと考えます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2	1	13	・父母の会があるのかわからない。	・現在、保護者同士の連携に関するご要望の声がないため、父母の会等は開催していません。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	14	0	0	3		・ご相談等はいつでもお話しいただけるよう、常日頃からコミュニケーションを取っていくことを心がけています。苦情対応に関しては担当者配置し、待合室に掲示を行うことで周知し、適切な対応・解決に向けた体制を整えています。気がなったこと等は些細なことでもお知らせ頂けたら幸いです。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	0	0	1		・お子さんとの意思の疎通に関しては、視覚支援を取り入れ、視覚的に分かりやすく伝えることができるよう心がけています。保護者の方とはLINEやSNSを活用し、情報伝達がしやすいよう工夫しています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9	0	0	8	・ホームページを見ないのでよくわからない。	・保護者の方が毎回の活動を見学しており、また個別療育のため行事等は実施していないことから、会報の発行はありません。お知らせに関しては掲示やSNS、直接お伝えする方法を取っています。自己評価の結果に関しては、ホームページ上に掲載し公表しています。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	16	0	0	1		・個人情報の取扱いに関しては、細心の注意を払っており、第三者に情報が伝わることがないように心がけています。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した 訓練が実施されているか	9	1	0	7		・各種マニュアルに関しては策定し、必要な訓練等を実施していますが、保護者への周知の面では不十分な状況となっているため、今後待合室でどなたでも閲覧できる環境を整えるなど対応を検討します。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	1	0	12		・個別療育の特性上、全利用者の利用時間内毎回避難訓練を実施することが難しいですが、避難訓練は定期的実施し、緊急時に備えています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	17	0	0	0	・「あと何日であらう？」と利用を楽しみにしている。	・療育を提供する中で、「楽しい」という感情を通して自己肯定感や意欲、自主性を高め、よりよい発達を促していくことができるよう心がけています。今後もお子さんに「楽しい」と思ってもらえるような支援を提供していきたいよう努めてまいります。
	23	事業所の支援に満足しているか	17	0	0	0	・いつもありがとうございます。	・今後も、お子さんや保護者の方々とコミュニケーションを大切にしながら、楽しみながら困り感に専門的なアプローチをし、お子さんの『like(好き)』『良育(良い育ち)』『良生(良く生きること)』を支える場所となっていけるよう努めてまいります。今後ともよろしくお願い致します。

事業所職員向け 児童発達支援 自己評価結

令和6年 3月

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	限られたスペースではありますが、子どもの特性や体格等配慮して、十分な活動ができるよう配慮しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	1	安全面に配慮し、場合によって職員の配置数を増やすなどの工夫をしています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	0	当事業所の建物はフラットな構造となっておりバリアフリー対応しています。また、室内の明るさや視覚刺激の量などの環境調整、お子さんへの視覚支援などを行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	0	毎日、清掃やアルコールによる除菌を行い、清潔で心地よい環境を提供できるよう心がけています。また、怪我の危険が予測される個所には緩衝材を設置することや季節ごとの装飾など、お子さんに合わせた環境づくりをしています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	0	日々の取り組みに加え、年に2回、全スタッフが業務の振り返りと評価、目標設定を行うことで業務改善に努めています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	保護者等による事業所の評価(アンケート)を毎年行っており、いただいたご意見やご要望などを全スタッフで共有し、業務改善につなげるようにしています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	保護者等からの評価結果や事業者からの評価の結果を全スタッフで共有するとともに、改善すべき点等について検討を行っています。また、結果についてホームページに掲載し、公表しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	6	第三者による外部評価は現在行っていません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	2	人員不足から研修への参加の機会を十分に確保できていないため、職員の資質向上のために十分な研修機会の確保を検討していきます。
適	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6	0	アセスメントを行い、お子さんの状況や保護者のニーズ、課題等をしっかりと把握し、個別支援計画に反映させることとしています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2	アセスメントツールの使用はありませんが、希望者にはWISC-IVによる検査を実施しています。

切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0	お子さん1人1人の状況や特性、課題などに応じて、ガイドラインに則った支援目標や具体的な支援内容を個別に設定し、支援を提供しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	0	個別支援計画に基づいて、全スタッフで計画に沿った支援を行なっています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1	立案はその日の担当者が一人でしていますが、毎回立案する担当者を変え、全スタッフが立案に関わるようにしています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	毎回の立案の際には前回までの記録を参照し、活動内容に偏りが無いよう配慮しています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5	1	集団療育は行っていませんが、スタッフを相手としてルールに沿って遊ぶ練習をするなど、集団生活の場面を想定した活動を提供しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	セッション開始前に立案者とサブのスタッフで打ち合わせを行い、セッションの狙いや役割分担を共有することとしています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	0	セッション終了後に、気づいた点や良かった点、改善すべき点などについて話し合い、スタッフ間で共有しています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	毎回のセッションは必ず記録を取っており、支援内容やお子さんの様子などをスタッフ間で共有できるようにしています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	定期的なモニタリング会議を通して、お子さんの状況や課題などを捉えなおすことで個別支援計画の見直しなどを実施しています。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	担当者会議には、普段からお子さんの支援に当たっているスタッフ(管理者、保育士等)がお子さんの利用状況を把握したうえで参加し、会議の結果を共有しています。
関係機関や保護者との	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	2	自治体の保健師からの紹介で利用につながるお子さんもおり、情報共有等を行っていますが、より連携を取っていくことができるよう検討します。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0	6	現在、医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のあるお子さんの利用はありません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	0	6	現在、医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のあるお子さんの利用はありません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	0	会議への参加や、情報提供書の作成等を行い、移行支援を行っています。

の 連 携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	0	会議への参加や情報提供書・サポートブックの作成、見学の受け入れ、学校への助言等を行い、移行支援を行なっています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	2	他の事業所を見学し、支援内容を学ぶ機会はありませんが、その他の支援センターとの連携は現在ありません。今後必要に応じて連携を取っていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	6	個別療育という支援の特性上、また、限られた時間の中での支援の提供となるため、外部のお子さんとの交流は行っていません。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	0	6	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等への参加は現在ありません。今後、必要に応じて参加を検討します。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	お子さんの最近の様子や困りごとなどについてお話しできるような積極的なコミュニケーションを心掛けており、支援に生かしていけるようにしています。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	31	保護者の対応力を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	3	3	プログラム等の実施はありませんが、活動の様子を見学していただく中で声掛け等の対応を参考にしていたり、必要に応じて相談支援などを行っています。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	初回利用の契約の際に、契約書、重要事項説明書に基づいて説明を行なっています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援計画の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	0	児童発達支援ガイドラインを基に個別支援計画書を作成し、計画書の支援内容に関して保護者へ説明を行なうとともに同意を得ています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	利用時にお子さんの状況や困りごと、相談などに応じ、助言等の支援を行なっています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	6	現在父母の会、保護者会等は保護者からの要望がないため開催していません。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	相談や申し入れ等はいつでもお話しいただけるよう、常日頃からコミュニケーションを取っていくことを心がけています。苦情対応に関しては担当スタッフを配置しており、適切な対応・解決に向けた体制を整えています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	4	保護者が毎回の活動を見学しており、また個別療育のため行事等は実施していないことから、会報の発行はありません。お知らせに関しては掲示やSNS、直接お伝えする方法を取っています。
	38	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	6	0	個人情報の取り扱いには細心の注意を払っています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	お子さんの特性に配慮した声掛けや、視覚的に分かりやすい伝達方法などを心掛けています
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	6	個別療育という特性上、地域や保護者からの要望がないため、地域との交流は実施していません。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	0	各種マニュアルを作成し、委員会の開催や発生を想定した訓練を実施しています。利用者への周知の面で不十分な状況となっているため、周知の方法を検討し対応します。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	定期的な避難訓練を実施し、非常災害の発生に備えています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	6	0	持病や服薬の状況について確認し、状況に応じた対応や配慮が出来るようにしています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	0	6	当事業所では食事の提供を行っていません。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	ヒヤリハット発生時には記録を残し、スタッフ間で周知し、共有することで再発や未然の防止を心がけています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	虐待防止に関する研修を受講し、内容に関して共有することで虐待防止に努めています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載しているか	6	0	身体拘束に関しては重要事項説明書に記載しており、初回利用の契約時に説明を行い、了解を得るようにしています。



らそうむ発達支援ルームらいく 評価表【保護者向け・放課後等デイサービス】

令和6年3月

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	32	1	0	・子どもが大きくなるにつれて、おにごっこ等走り回る際は少し狭く感じることもある	・プレイルームは、中・高学年以上になるにつれ手狭に感じられることがあるかと思えます。限られたスペースですが、トランポリンやマットを移動してスペースを確保する、走り回る際は壁等に衝突することがないようにスタッフを配置するなど、十分な活動ができるよう工夫しています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	30	2	1	・セッション後にどのような目的で運動や勉強をしたのか説明がありわかりやすい ・STによる言語訓練をあまり受けられていない ・STを増やしてほしい	・STが休職中につき、ニーズのある利用者の方々には十分な療育を提供することができない状況となっており、申し訳ございません。在籍スタッフによる口腔体操や構音訓練は行っていき、出来る限りの支援を提供していきたいと考えます。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	32	1	0	・特に必要性はない ・不要なのでわからない	・当事業所は入り口スロープの設置や段差のない構造となっており、バリアフリー対応しています。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	31	2	0	・具体的に計画が立てられており目標が明確で安心して利用できる	・お子さんの状況や課題、保護者の方のニーズなどをST(休職中)、OT、保育士などのスタッフが多面的に分析し、一人一人の支援計画に反映させています。
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	30	3	0	・毎回楽しく取り組めるように工夫されている ・毎回違うプログラムなので、子どもは楽しんでいると思う ・本人のやりたいことを取り入れてもらえるが、スタッフから提供する課題もやってほしい	・活動プログラムに関しては、お子さんのニーズや課題を念頭に、お子さんが「やらされる」のではなく自分から積極的に取り組めるよう工夫しながら提供しています。「やりたいこと」と「やるべきこと」のどちらも取り入れながらセッションを提供することができるよう心がけて参ります。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	13	14	・特に交流を望まない ・個別の活動に安心感があり満足している ・個別のプログラムを利用しているので交流等はない ・未経験	・個別療育という支援の特性上、また、限られた時間の中での支援の提供となるため、外部のお子さんとの交流は行っていません。現在要望の声はありませんが、今後必要に応じて実施を検討していきます。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	31	2	0		・支援の内容に関しては、セッション終了後にどのような狙いで活動を提供したのかをお伝えするようにしています。利用者負担等に関しては利用開始の契約時、または利用者負担の発生時に説明させていただいています。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達状況や課題について共通理解ができていますか	32	0	1	・気になることは都度相談できている ・丁寧に対応してもらっている	・学校での生活や学習について、また家庭での状況など情報を共有させたい、困りなどをセッションに活かすよう心がけています。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	29	4	0	・丁寧に対応してもらっている	・現在、面談としての時間は設定しておりませんが、セッション終了時などにお話をさせていただいています。お子さんの状況や困りごとなどをお聞きし、助言等の支援をさせていただいています。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	11	15	・会の活動があるかわからないが関わったことがない ・連携を求められることを負担になりそうなたため今のままで満足している ・把握していない。プログラム中は見学しているため ・未経験	・現在、保護者同士の連携に関するご要望の声がないため、父母の会等は開催していません。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	26	6	1	・苦情解決の担当者や連絡先について掲示してある ・そのような状況にあったことがない	・ご相談等はいつでもお話しいただけるよう、常日頃からコミュニケーションを取っていくことを心がけています。苦情対応に関しては担当者を配置し、待合室に掲示を行うことで周知し、適切な対応・解決に向けた体制を整えています。気になったこと等は些細なことでもお知らせ頂けたら幸いです。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	31	2	0	・LINEでつながっているため連絡がしやすい	・お子さんとの意思の疎通に関しては、視覚支援を取り入れ、視覚的に分かりやすく伝えることができるよう心がけています。保護者の方からはLINEやSNSを活用し、情報伝達がしやすいよう工夫しています。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	19	12	2	・ホームページを見たことがない ・わからない ・不明	・保護者の方が毎回の活動を見学しており、また個別療育のため行事等は実施していないことから、会報の発行はありません。お知らせに関しては掲示やSNS、直接お伝えする方法を取っています。自己評価の結果に関しては、ホームページ上に掲載し公表しています。
14	個人情報に十分注意しているか	31	2	0	・スタッフから他のお子さんの話などを聞いたことがないため、自分の話も漏れていないという安心感がある	・個人情報の取扱いに関しては、細心の注意を払っており、第三者に情報が伝わることがないように心がけています。	
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	20	11	2	・未経験 ・インスタなどで知られているのですか？	・各種マニュアルに関しては策定していますが、保護者への周知の面では不十分な状況となっているため、今後待合室でどなたでも閲覧できる環境を整えるなど対応を検討します。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	18	4	・今までにあったかもしれないが自分の利用時にあったことはない ・緊急時の対応について説明を受けた ・未経験	・個別療育の特性上、全利用者の利用時間に毎回避難訓練を実施することが難しいですが、避難訓練は定期的実施し、緊急時に備えています。
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	33	0	0	・利用の日は朝からとても楽しみにしている ・近くを通ると「らいく」と言い楽しみにしている ・安心する場所のよう ・大変満足している ・9割楽しみで、1割は本人の気分によって左右されるよう	・療育を提供する中で、「楽しい」という感情を通して自己肯定感や意欲、自主性などを高め、よりよい発達を促していくことができるよう心がけています。今後もお子さんに「楽しい」と思っていたらよいような支援を提供していけるよう努めて参ります。
	18	事業所の支援に満足しているか	33	0	0	・楽しく通えている ・家庭では出来ない運動ができ、見ていて成長を感じる ・運動する機会が減っているため利用して良かった	・今後も、お子さんや保護者の方々とのコミュニケーションを大切にしながら、楽しみながら困り感に専門的なアプローチをし、お子さんの『良育(好き)』『良育(良い育ち)』『良生(良く生きること)』を支える場所となっていけるよう努めてまいります。今後ともよろしくお願ひ致します。

令和6年3月

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	0	お子さんの年齢によっては手狭に感じる場合もありますが、物品を移動させてスペースを確保するなどして、十分な活動ができるよう工夫しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	0	1	安全面に配慮し、場合によって職員の配置数を増やすなどの工夫をしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	0	0	当事業所の建物はフラットな構造となっており、バリアフリー対応しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	2	1	日々の取り組みに加え、年に2回、全スタッフが業務の振り返りと評価、目標設定を行うことで業務改善に努めています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	保護者等による事業所の評価(アンケート)を毎年行っており、いただいたご意見やご要望などを全スタッフで共有し、業務改善につなげるようにしています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	0	自己評価結果をホームページに掲載し公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	0	3	第三者による外部評価は現在行っていません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	2	2	人員不足から研修への参加の機会を十分に確保できていないため、職員の資質向上のために十分な研修機会の確保を検討していきます。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	アセスメントを行い、お子さんの状況や保護者のニーズ、課題等を適切に捉え、個別支援計画に反映させることとしています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1	2	アセスメントツールの使用はありませんが、希望者にはWISC-IVによる検査を実施しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1	1	立案はその日の担当者が一人でしていますが、毎回立案する担当者を変え、全スタッフが立案に関わるようにしています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	0	毎回の立案の際には前回までの記録を参照し、活動内容に偏りがないよう配慮しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	2	0	個別療育である当事業所の特性上、平日、休日、長期休暇等で活動内容を区別することは行っていません。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	3	0	集団療育は行っていませんが、スタッフを相手としてルールに沿って遊ぶ練習をするなど、集団での場面を想定した活動を提供しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0	セッション開始前に立案者とサブのスタッフで打ち合わせを行い、セッションの狙いや役割分担を共有することとしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	3	3	0	セッション終了後に、気づいた点や良かった点、改善すべき点などについて話し合い、スタッフ間で共有しています。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	毎回のセッションは必ず記録を取っており、支援内容やお子さんの様子などをスタッフ間で共有できるようにしています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	定期的なモニタリング会議を通して、お子さんの状況や課題などを捉えなおすことで個別支援計画の見直しなどを実施しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	1	0	お子さん1人1人の状況や特性、課題などに応じて、ガイドラインに則った支援目標や具体的な支援内容を個別に設定し、支援を提供しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	0	担当者会議には、普段からお子さんの支援に当たっているスタッフ(管理者、保育士等)がお子さんの利用状況を把握したうえで参加し、会議の結果を共有しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	2	3	1	当事業所では学校からの送迎業務を行っていないため、学校との情報共有や連絡調整を必要としていません。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	2	4	現在、医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のあるお子さんの利用はありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	0	0	要望があった際は、必要に応じて会議への参加や情報提供書の作成などを行い情報共有などを行なっています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	3	1	該当するケースがほとんどないため実施していませんが、要望があった際には情報提供を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3	1	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携は現在取っていませんが、必要に応じて連携を取ることを検討します。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のないお子さんとの交流の機会は現在ありません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	1	5	(地域自立支援)協議会への参加は現在ありません。今後、必要に応じて参加を検討します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	お子さんの最近の様子や困りごとなどについてお話しできるような積極的なコミュニケーションを心掛けており、支援に生かしていけるようにしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	3	0	プログラム等の実施はありませんが、活動の様子を見学していただく中で声掛け等の対応を参考にいただいたり、必要に応じて相談支援などを行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	初回利用の契約の際に、契約書、重要事項説明書に基づいて説明を行なっています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0	利用時にお子さんの状況や困りごと、相談などに応じ、助言等の支援を行なっています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	0	5	現在父母の会、保護者会等は保護者からの要望がないため開催していません。



	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	苦情対応に関しては担当スタッフを配置しており、適切な対応・解決に向けた体制を整えています。また、待合室に苦情解決の案内について掲示を行い、保護者やお子さんへ周知をしています。
--	----	---	---	---	---	---

	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1	2	3	保護者が毎回の活動を見学しており、また個別療育のため行事等は実施していないことから、会報の発行はありません。お知らせに関しては掲示やSNS、直接お伝えする方法を取っています。
	35	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	個人情報の取り扱いには細心の注意を払っています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	1	お子さんの特性に配慮した声掛けや、視覚的に分かりやすい伝達方法などを心掛けています
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	6	個別療育の特性上、行事等は実施しておらず、地域との交流は行なっていません。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	2	0	各種マニュアルを作成し、委員会の開催や発生を想定した訓練を実施しています。利用者への周知の面で不十分な状況となっているため、周知の方法を検討し対応します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1	0	定期的な避難訓練を実施し、非常災害の発生に備えています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	虐待防止に関する研修を受講し、内容に関して共有することで虐待防止に努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	0	0	身体拘束に関しては重要事項説明書に記載しており、初回利用の契約時に説明を行い、了解を得るようにしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	0	0	6	当事業所では食事の提供を行っていません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	ヒヤリハット発生時には記録を残し、スタッフ間で周知し、共有することで再発や未然の防止を心がけています。